

碎石敷設した区域でアサリの調査を実施します

1 碎石敷設と調査について

浜名湖のアサリ漁業は極度の不漁となっています。減少要因の1つとして、潮流の変化により、アサリ稚貝が着底できない可能性が指摘されています。この対策として、令和5年度に、他県で有効性が報告されている碎石敷設を鷺津地先と大崎地先で実施し、令和6年度に生息状況の調査を行いました。

今年度は、碎石敷設した場所における食害の影響を把握するため、被覆網を設置してその効果を調査します。

碎石敷設した場所の4角には、目印として鷺津地先は杭、大崎地先はブイを設置していますので御承知おきください。調査への御理解と御協力をお願いします。



2 調査期間

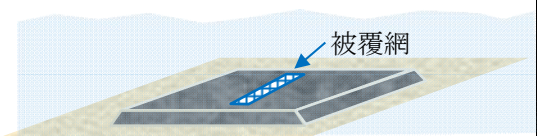
令和7年7月から12月までを予定

3 碎石敷設調査場所

浜名漁業協同組合共同区画漁業権漁場位置見取図



<イメージ図>



碎石敷設の面積 20m×20m

碎石敷設の厚さ 30 cm

被覆網の面積 2 m×10m

(担当)

静岡県経済産業部水産・海洋局

水産資源課 資源増殖班

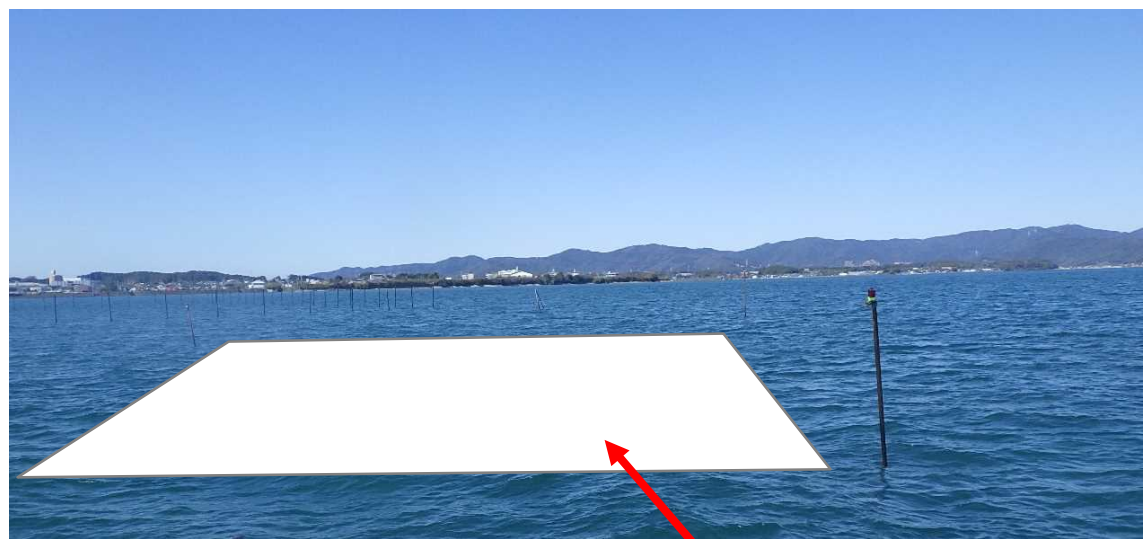
連絡先：054-221-2453

大崎地先



碎石敷設場所

鷺津地先



碎石敷設場所